

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
情報リテラシー		必修	1	1	前期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
升 佑二郎	D314	y-masu		水曜日 5 時限	
授業の目的・概要	情報の収集・精査や発信、個人情報の取り扱いやビッグデータや人工知能 (AI) の利活用について学習することで、変化していく情報化社会に対応できる学習能力を身に着けることを目的とする。臨床現場にて提供される多様なシステムを活用できるように、ビッグデータや人工知能 (AI) の利活用の方法、データの解析方法を学ぶ。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> その他 (演習課題) <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	日進月歩で変化する情報化社会に適応するための能力を身に着け、実践に活かすことが重要となる。				
教科書	2022 事例でわかる情報モラル&セキュリティ /編：実教出版編修部 /実教出版 /2022				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会におけるデータ・AI の利活用の方法がわかる。			HSU(2)、(4)、(5)	
②	データを解析し、説明することができる。			HSU(2)、(4)、(5)	
③	データ・AI 利活用における留意事項がわかる。			HSU(2)、(4)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	社会で起きている変化 (ビッグデータ、IoT、AI、ロボットなど) について学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
2	社会で活用されているデータ (人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど) について学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
3	データ・AI の活用領域 (生産、消費、マーケティングなど) について学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
4	データ・AI 利活用のための技術 (パターン発見、最適化、シミュレーションなど) について学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
5	データ・AI 利活用の現場 (課題の抽出、解決に向けた提案などの活用事例) について学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
6	データ・AI 利活用の最新動向 (新しいビジネスモデル、強化学習、転移学習など) について学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
7	データ・AI 利活用における留意事項 (個人情報の保護、利用時のモラル、倫理、脅威など) について学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
8	データの解析方法 (データの図表表現、データの比較など) を学習する。	同時双方向型授業	講義内容を復習し、講義中に出された課題を実践する。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	20	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	30	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	30	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業内で行う課題（100%）により判定する。				Teamsを使った遠隔授業時および配布資料にて解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容	学生がデータ・AI利活用事例を調査し発表する。データ解析の方法は演習形式にて教える。 Teamsを使った遠隔授業を行う。課題ダウンロードや動画視聴などがあるため、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。						
そ の 他	今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。						